

平成26年度第1回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

---

1 日時 平成26年7月16日（水） 午後7時～午後8時35分

2 場所 中央区保健所2階大会議室

3 出席者

【委員】

松本俊彦(委員長)、井上悟(副委員長)、岩重佳治、佐藤文則、石井真人、前田宥全、前田幸治(代理)、山上嘉人、阿部雅俊(代理)、岩崎隆浩(代理)、柳田慎二(代理)、平林治樹、長嶋育夫、和田哲明、坂田直昭

【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進主査、他

(主な議題)

- 1 昨年度及び本年度の取り組み
  - 2 未遂者調査の進捗状況について
  - 3 未遂者家族支援リーフレットについて
- 

[議事の経過]

1 昨年度及び本年度の取り組み

事務局より昨年度及び本年度の取り組みについて説明があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(事務局説明)

- 平成25年の自殺者数は21名と減少し、都に比べると無職の方の割合が少ない。
- 今年度は人材育成として民生委員向けにゲートキーパー養成講座を実施する。

(委員からの意見)

○全国的に見てもここ2年間、自殺者数は3万人を切っていますので確かに減少傾向にあるかもしれない。また、働き盛り世代への自殺予防対策が一つの課題になると思う。

○区として全庁的に自殺対策に取り組む研修体制が整えられているのか。

○昨年薬剤師会研修の中で実施したゲートキーパー養成講座は、講師の言葉にも感銘を受け、結構評判がよかった。

2 未遂者調査の進捗状況について

事務局より未遂者調査の進捗状況について報告があり、その後事例検討と意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(事務局説明)

○途中経過として自殺未遂者の多くは女性で、自殺企図手段として過量服薬が大半だった。また未遂歴有の方が多く、福祉サービスにつながっている方は少ない傾向。

(委員からの意見)

○若干計画スケジュールよりも遅れてはいるが、他自治体と比べると行政と医療機関との連携という点では、非常に早く進んでいる。

○女性が直面するDV等の社会問題に対して、女性がアクセスしやすい相談体制の確立ができれば中央区独自の対策になるのではないかと思う。

### 3 未遂者家族支援リーフレットについて

事務局より未遂者家族支援リーフレット作成について報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(事務局説明)

○未遂者家族が適切な支援先につながるができるようなリーフレットの作成を目指している。

(委員からの意見)

○緊急性の高い相談は深夜から朝方に多いので、その時間帯にやっている相談窓口をのせる必要があると思う。

○リーフレットを渡すタイミングについて退院時渡すのが一番効果的だが、いろんな機会を捉えて手に渡ってもらうために、渡せるときに渡すのがいいと思う。

### 4 その他

一期目の任期中における協議会は終了した。